

2020年3・1ビキニデー集会参加海外代表のプロフィール

2019年2月4日

日本原水協事務局 国際部

マーシャル諸島

アバッカ・アンジャイン・マディソン（元上院議員、ロンゲラップ島民女性クラブ「イジュ・イン・エアン」代表）



ロンゲラップ環礁選出のマーシャル諸島共和国元上院議員。第五福竜丸とともに「死の灰」を浴びたロンゲラップ島で、被爆した島民のたたかいを率いた故ジェットン・アンジャイン上院議員の娘。父と兄弟にあたるネルソンとジョンの遺志を受け継いで、被ばく者の正義と補償のための支援を訴えてきた。2017年核兵器禁止条約交渉会議に核被害者代表として参加し、条約成立に向け活躍。アメリカの圧力に屈せず、マーシャル諸島の条約調印・批准をめざして精力的に活動し

ている。2005年以来、ビキニデー集会、原水爆禁止世界大会に何度も参加しており、2010年、2015年NPTニューヨーク行動にも参加。

韓国

イ・ジュンキュ（韓神大学統一平和政策研究院 前任研究委員）

現在、韓神大学統一平和政策研究院の前任研究員として、南北朝鮮関係と国際政治を専門に研究している。2003年から2010年まで平和ネットワーク（NGO）の政策立案責任者。2008年から2009年に日本の明治学院大学で研究。核関連問題、南北朝鮮関係、東アジアに関する国際政治について、Redian, PRESSIAN, Ohmynews, ハンギョレ21などのインターネットメディアや時事雑誌、定期刊行物に多くのコラムや記事を執筆。民主労働党、新進歩党、緑の党など韓国で生まれた革新系政党の政策作りに積極的に関わってきた。世界大会にはこれまで何度も参加しており、昨年の3・1ビキニデーでは激動する朝鮮半島問題について解説。同年5-6月



ソウルで開かれた「非核・平和のための日韓国際フォーラム」の韓国側実行委員会の統括役割を果たした。

バク・ハヨン（平和と統一を開く人々 = SPARK 国際連帯チーム）（左写真）

キム・イナ（SPARK 青年企画チーム／聖公会大学校 人権委員会反戦核軍縮部員）

（右写真）



SPARK は 1994 年 6 月に結成。朝鮮半島の恒久的平和を実現して、民族の自主、平和統一を達成し、統一過程と統一後に、民族共同体が福祉・平等・繁栄に進み、人類がすべての戦争から解放される世界平和



体制をつくりだすことをめざす。昨年の「日韓国際フォーラム」の実行委員会に参加。

フィリピン

コラソン・ヴァルデス・ファブロス（非核フィリピン連合 事務局長）



弁護士。30 年以上にわたって反基地、反核平和運動に関わる。現在「フィリピン戦争ストップ連合」共同議長。フィリピンでの原発を停止させ、在比米軍基地協定の拒否と撤去運動の中心を担った非核フィリピン連合の事務局長。外国軍事基地撤去国際ネットワーク調整委員会メンバー。「ノー・ニュークス・アジアフォーラム」と「軍事基地活動と環境正義に関する国際ネットワーク」のフィリピン担当コーディネーター。平和女性パートナーズ、発展をめざす女性行動ネットワーク (DAWN)、フィリピン基地汚染除去タスクフォース、フィリ

ピン主要宗教修道院長協会女性とジェンダー委員会などでも活動している。

アメリカ

ジョゼフ・ガーソン（平和・軍縮・共通安全保障キャンペーン 会長）

長年、アメリカフレンズ奉仕委員会の経済安全保障プログラム責任者をつとめ、2017年に平和・軍縮・共通安全保障キャンペーンを創立。核兵器廃絶、大国間の緊張、在外米軍基地、国防支出問題に焦点を当てて米国の外交・軍事政策への平和で公正な代替案を組織し啓蒙している。現在、国際平和ビューロー副会長、平和と地球国際ネットワークの共同議長、反NATO／反戦争運動の運営委員で、「コリア・ネットワーク」にも参加している。「帝国と核兵器」などの著書があり、アトミック・サイエンティスト

誌、ボストン・グローブほかに多くの記事が掲載されている。1984年以来、原水爆禁止世界大会と日本の反核平和・反基地運動との連携・協力を続けてきた。今年4月24、25日、NPT再検討会議直前に開催される原水爆禁止世界大会ニューヨークの企画責任者。

